

基本テーマ **北** その自然と人

Muse Letter ミューズ・レター

2003.1 No.14 発行●札幌市博物館活動センター

〒080-0001 札幌市中央区北1条西8丁目リソナーズプラザ内5階

電話 011-200-5002 FAX 011-200-5003 http://www.city.sapporo.jp/museum/

# ガマの穂地図



図1: ガマの穂地図

かれています。種子が小型で軽く、そのうえに長い毛がついていれば風に飛ばされて遠くに飛んでいけます。しかも、何万個もの種子があれば何万

皆さんおなじみのガマの穂、いま開催されている企画展「ふわふわ」展にも登場しています。でも、あの「ホットドック」の形ではありません。第一、あの茶色の部分は固くてふわふわとはほど遠い、という記憶のある人も多いと思います。

そもそも、あの「ホットドック」はガマという植物のどの部分なのでしょう？ 茎が変形したもの？ 花？ それとも果実？ 花といえば「きれいで目立つもの」というイメージがあるかもしれませんが、ガマにも立派に地味な花が咲き、果実ができます。実は、あの茶色のガマの穂こそが果実の集まりなのです。植物が花を咲かせるのは人間に見てほしいからではありません。植物にとって花は確実に子孫を残すための重要な器官なのです。ガマの場合は大きな目立つ花びらをもつかわりに、節約した資源を使って数え切れないくらいたくさんの小さい種子をつけます(写真1)。熟す前はギョツと固く集まっていますが、熟すと果柄についている毛が開いて、穂が内側から押し出されるようにほころび、まるで綿菓子のようにふわふわにふくらみます(写真2)。

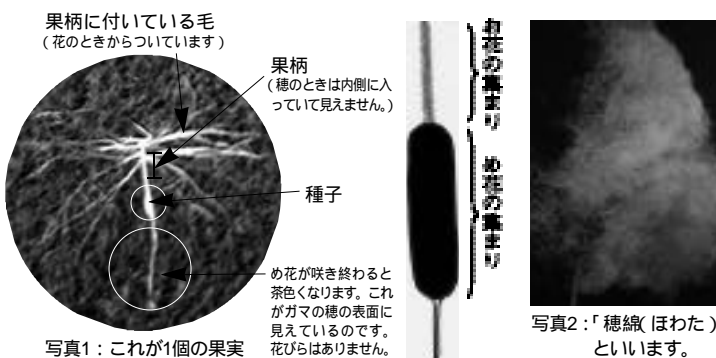
本で調べてみると、種子の重さは「計測不能」つまり軽すぎてはかりの目盛りが読めない、と書

分の1とはいえ、様々なアクシデントをくり抜けて生き残ることができる可能性が高くなります。ガマは川や沼・池のほとりに好んで生えますが、種子が水に落ちて毛で水をはきプカプカ浮いたまま水の流れを利用して移動できます。植物たちのひっそりとして着実な、こんな分布拡大作戦に思わずニヤリとせずにはいられません。

さて、札幌市内・周辺のガマの生えているポイントはどこでしょう。過去の資料では詳しい住所までわからず、展示用のガマの穂をどこでとつてこようか困っていました。採集のタイミングを逃せば、穂が綿毛になって飛んでいってしまいます。あせっていたとき、友人やミュージアムサロンのメンバーにガマの穂目撃情報を聞いたところ、発寒川や篠路五戸の森、東米里周辺の水路、南区中ノ沢というようにあつという間に「ガマの穂地図」ができました(図1)。今年採集したポイントはずかですが、上に書いたように川沿いに仲間を増やしていくガマのこと、近くを探せばまだまだ穴場が見つかると思います。そして新しく見つかった点を地図に書き込みながら、みんなで協力してある植物についての地図をつくってみるのもいいですね。

【参考にした本～活動センターにあります。】

「日本植物種子図鑑」中山 至大・井之口 希秀・南谷忠志著 (2000年,東北大学出版会)



特別寄稿 博物館探訪・スミソニアン博物館

# スミソニアン・インスティテューションの現在

## (3) 研究施設とその活動

北川芳男（元北海道開拓記念館学芸部長・理学博士）

スミソニアンの研究活動は、それぞれの博物館に所属する研究者による資料の収集・調査やテーマ研究のほか、国内外の7つの研究所でユニークな研究を展開している。それらについては一般にはあまり知られていないのでその概要を紹介しておこう。

### 1 アメリカ美術古文書館

(Archives of American Art)

合衆国のビジュアル・アートの歴史に関する考証資料の収集調査、保管、情報の提供などを行っている。ニューヨーク、ボストン、デトロイト、ロサンゼルス、ワシントンDCに地域センターがある。

### 2 保存分析研究室

(Conservation Analytical Laboratory)

メリーランド州シュートランドのスミソニアン・サポート・センターの中にある。いろいろな博物館資料の保存や分析、修復技術などについて最新の技術で研究をしている。

### 3 国立動物園保護・研究センター

(Conservation and Research Center,  
National Zoological Park)

バージニア州のブルーリッジ山脈の山麓森林帯にある(面積1,255ha)。国天然記念物の動物の繁殖保護と稀少動物や障害動物の研究を行っている。

### 4 フォート・ピアス海洋ステーション

(Marine station at Fort Pierce)

フロリダ州のフォート・ピアスにある。フロリダの東海岸沿いの河口や沿岸海域の環境や大陸棚海域の研究を行い、自然的あるいは人為的ストレスが与える環境変化を追及し基本的な情報を探っている。この施設は国立自然史博物館が管理運営している。

### 5 スミソニアン天体物理観測所

(Smithsonian Astrophysical Observatory)

マサチューセツのケンブリッジにある。スミソニアン天体物理センターとハーバード大学との共同運営で、宇宙の物理的特性や進化を研究している。アリゾナのタクソン近くのMt. フォープキンに観測所がある。

### 6 スミソニアン環境研究センター

(Smithsonian Environment Research Center)

チェサピーク湾の近くにある。大気・河口湿原・地上の生態系にみられる物理・化学・生物学的現象の調査研究を進めている。

### 7 スミソニアン熱帯研究所

(Smithsonian Tropical Research Institute)

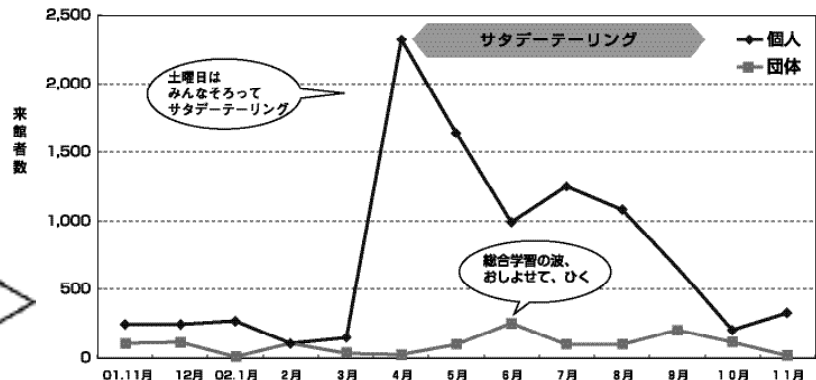
パナマ共和国にある。ここではスミソニアンの研究者と世界各地からの研究者が熱帯生物の習性や行動そして進化を研究している。

以上、8回にわたってスミソニアンの歴史と現状の話題を紹介してきたが、スミソニアンは、今もジェームス・スミソンの夢を拡大させながら、確実に成長を続けているのである。

# オープンから1年を振り返って...

昨年11月22日に活動センターは満1歳になりました。まだまだよちよち歩き...といっても、体験学習会や博物館講座、企画展示などなど、ボリュームのある1年でした。

来館者数の変化は？  
(2001年11月～2002年11月)



展示室からあふれるくらいのにぎわい!

## 大爆発!! サタデーデーリング

4月～5月の土曜日は大にぎわい。みんなと同じ行動パターンじゃおもしろくないっていう人はいないの?! 6月以降にきたら、ゆったり見学できますよ。

## みんなにとって特別な企画展は？

どの展示が一番楽しかったかな?これからやって欲しいテーマはありますか?

今年度の締めくくりは「ふわふわ」展。自然のなかの「ふわふわ」と遊びましょう!!(次のページを見てね。)

これまでのiミュージアム企画展

回	分野	タイトル	主催者(協力)	開催期間	日数
1	古生物	アンモナイトは語る	札幌自然史研究会	2001年11月22日(土)～2002年1月12日(土)	34
2	雪氷学	不思議体験・雪と氷の世界	若浜五郎氏、古川義純氏、平松和彦氏	2002年1月26日(土)～2002年3月30日(土)	45
3	植物・動物	芸術の森の自然	博物館活動センター(財団法人札幌市芸術文化財団)	2002年4月20日(土)～2002年6月15日(土)	40
4	古生物	世界最小の恐竜展	恐竜倶楽部北海道支部	2002年6月29日(土)～2002年8月3日(土)	26
5	昆虫	札幌トンボ事情	札幌拓北高等学校理科研究部	2002年8月17日(土)～2002年10月12日(土)	41
6	昆虫	魅惑の昆虫展 ～紙谷コレクションの世界～	博物館活動センター(紙谷重行氏)	2002年10月26日(土)～2003年1月11日(土)	50

## 野外に繰り出す博物館!!

化石採取、昆虫採集は雨天のため予定変更や中止になってしまっ、残念。来年度は、たくさん応募があった化石関係の講座回数を増やす予定です。その他植物や土の観察会も今年度以上におもしろくしようと張り切っています。



地形図を見ながら札幌の成り立ちを読み解いてみよう。(体験学習会「豊平川の地理」)



冬だからこそ観察できる、冬芽や雪の上に落ちた果実。(体験学習会「雪道さんぽ」)

第7回 iミュージアム企画展

# ふわふわ展

わがたくさん。

出ししたり...

!

## ひっじを作ろう!

アイデアをその場で表現で  
た作品を展示室内の「は  
木)にくっつけて、みん  
げましょう。

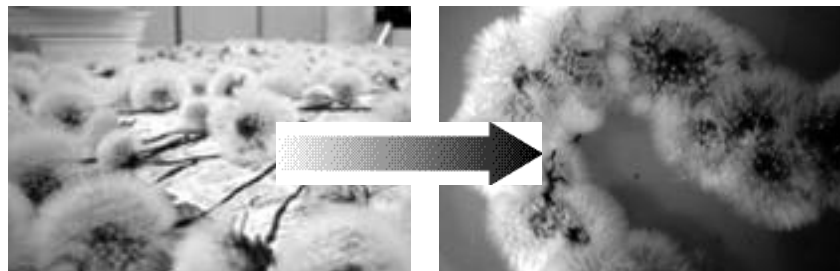
の企画展です。展示資料

の  
の

## ふわふわ展誕生秘話



6月の街に舞う“ケセランパサラン”ことポプラの綿毛。迷惑がられることもあるけれど、私たちは拾わずにはいられない!サロンのメンバー、学芸員、来館者も誘ってポプラの綿毛採集にくりだしました。道行く人々にも注目され、「それは何ですか?」との質問も。足元の白い房がポプラの果序(果実の集まり)です。(北海道庁舎わきポプラ)



5月、綿毛が開く前につままれて、そのまま冷蔵庫に入れられ...12月に開いた綿毛(左)。綿毛が飛んでいかないように固定したら、企画展入口にあるタンポポカーテンづくり(右)。地道な作業が1ヵ月半続きました。飛ばない綿毛の秘密については展示室で紹介しています。

編  
集  
後  
記

来館者数11,075人 (12月末現在)

ガマの花粉は漢方薬として知られ、「因幡の白ウサギ」のお話にも登場します。ウイスキーの樽を作るのにも葉を利用するそうです。ですが、まだ穂綿の実用化には至っていないようです。どなたか、新たなワタ資源として利用してみませんか?(ま)

